



薔

薇

Setsuko Yamada Dance Solo

色

Wearing Rose Pink

の

in contact with the untold shadows

服

山田せつ子ダンスソロ

◎構成・振付・出演＝山田せつ子

10/8 Fri 19:30-, 10/9 Sat 14:00-, 2010 京都芸術劇場 studio2I

◎主催: 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター、枇杷系 ◎お問い合わせ: 京都芸術劇場チケットセンター 075-791-8240



京都芸術劇場

で

薔

薇色の服で

無数の影と会う

構成・振付・出演＝山田せつ子

着古した灰色のレインコートを着た彼女は、大都会をさまよっている。
右の袖は袖を通されないままぶら下がり、彼女は一方の足をぐったりとひきずる。
その様子は戦争での負傷者を連想させる。最後の大きな戦闘で負傷し、
社会に戻って来たものの、戦争の記憶を忘れた社会からは
見捨てられている孤独な負傷者のようである。

山田せつ子がMünsterのPumpenhausで上演した“Wearing Rose Pink”は、
このように薄暗い様子の中で始まったが、同時に繊細でありながら強固な振付をみせた。

山田せつ子は、伝統的な東洋のフォルムと現代的な西洋の表現形式を結びつける表現を見せ、
その相反する二つの雰囲気と調和させることができる。

都会の騒音はほとんど止まないが、

彼女はレインコートと不格好な靴を脱ぐ——すると、

赤いドレスを着た、エレガントで若い女性が現れる。

彼女の前に人生はまだその門戸を開いたばかりである。

今や明るい黄色の光に満たされた空間を彼女は軽々と動く。

仰向けに横たわり、ピアノ音楽と共に、

足を動かして遊び始める。その遊びは、

だんだん遊び自体が独立して動いているかのように見え、

ついにはダンサーを日常の営みへと引き戻す。

異国の幽霊のような美しさをたたえた作品に、

観客は大きな拍手を送った。

2010/5/31 Munstersche Zeitung 紙

Setsuko Yamada Dance Solo

Wearing Rose Pink

in contact with the untold shadows

● スタッフ

ドラマツルグ……宇野邦一

音響……大久保歩 (KWAT)

サウンド提供……稲垣貴士

照明……吉本有輝子 (真昼)

衣裳……稲村朋子

舞台監督……原口佳子 (office モリブデン)

制作……京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター

枇杷系

NPO法人魁文舎 (花光潤子・松本千鶴)

宣伝美術……井原靖章

写真提供……KANG Hyun

● 山田せつ子プロフィール

明治大学演劇学科在学中、笠井淑の主宰する舞踏研究所「天使館」に入館。独立後ソロダンスを中心に独自のダンスの世界を展開し、国内外での公演も多数行い、日本のコンテンポラリーダンスのさきがけとなる。89年よりダンスカンパニー枇杷系を主宰、『翔ぶ娘』『愛情十八番』などの作品を発表。00年より京都造形芸術大学映像・舞台学科教授として8年間ダンスの授業を持ち09年より客員教授。最近の作品『奇妙な孤独』『ふたり いて』など。ダンス・演劇などのジャンルを超えて新しい作品創りを始めている。著書『速度ノ花』(五柳書院)

山田せつ子 8年振りの新作ソロダンス

『薔薇色の服で』は、09年夏の韓国チャンム・ダンスフェスティバル、11月ロシア Cannon Dance Center、12月タイ Patravadi Theatre、2010年5月ドイツ Theater im Pumpenhaus と世界各地でワークインプログレスの実験上演を積み重ね、いよいよここで日本で、10月の京都造形芸術大学 studio21、そして12月の東京吉祥寺シアターでのフルバージョン発表となる。

作品のモチーフとなっているのは、作家ヴァージニア・ウルフの作品世界。多様な人や物の連続描写のなかで、時間と場所が繰り返され奇妙に置き換えられていくウルフの世界を触媒にして、山田せつ子の身体が声、光、音と対話していく。08年デュオ作品『ふたり いて』に続きドラマツルグに宇野邦一を迎え、宇野によって丹念に拾い出された緻密な言葉をダンスに介入させる。身体の知覚がダンスムーブメントを掘り起こしていく山田せつ子のダンス。その静謐なダンスに言葉が亀裂を生じさせる。ダンスが瑞々しく立ち現れる瞬間!

10/8 開演 19:30-、10/9 開演 14:00-、2010

(開場は開演の30分前)

京都芸術劇場 studio21

● 料金【全席自由・整理番号付き】

一般 3,000円

● 京都芸術劇場友の会 2,500円 (先行発売あり・年会費 2,000円)

● 学生&ユース 2,000円 (ユースは25歳以下・要証明)

● 瓜生山学園生 1,000円 (要学生証)

★ 2010年7月23日(金) 10:00 一般前売り開始

● チケット取り扱い

● 京都芸術劇場チケットセンター TEL 075-791-8240 (平日10:00-17:00)

● 劇場オンラインチケットストア 必要会員登録(無料)

パソコンから <http://www.k-pac.org/>

携帯から <http://www.k-pac.org/theatre/m/m>

京都芸術劇場 モバイルサイト



● 公演お問い合わせ

● 京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター TEL 075-791-8199

★ 東京公演: 2010年12月3日(金), 4日(土), 5日(日) 吉祥寺シアター

● 会場アクセス

京都芸術劇場 studio21

<http://www.k-pac.org/access.html>

〒606-8271 京都市左区北白川瓜生山

2-116 京都造形芸術大学内 075-791-8240

○ JR「京都」駅、京阪「三条」駅、阪急「河原町」駅から—京都市バス5番「岩倉」行き乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

○ 市営地下鉄「丸太町」「北大路」駅から—京都市バス204循環に乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

○ 京阪電鉄「出町柳」駅から—叡山電鉄に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩10分タクシーで約10分

* 駐車場はございませんので、お車・バイクでの入場はお断りいたします。

